

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4809044号
(P4809044)

(45) 発行日 平成23年11月2日 (2011. 11. 2)

(24) 登録日 平成23年8月26日 (2011. 8. 26)

(51) Int. Cl.	F I
G06F 13/00 (2006.01)	G06F 13/00 550L
H04M 1/00 (2006.01)	H04M 1/00 W

請求項の数 2 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2005-342144 (P2005-342144)	(73) 特許権者	502032105
(22) 出願日	平成17年11月28日 (2005. 11. 28)		エルジー エレクトロニクス インコーポ
(65) 公開番号	特開2006-164272 (P2006-164272A)		レイティド
(43) 公開日	平成18年6月22日 (2006. 6. 22)		大韓民国, ソウル 150-721, ヨン
審査請求日	平成17年11月28日 (2005. 11. 28)		ドンボーク, ヨイドードン, 20
審査番号	不服2008-19185 (P2008-19185/J1)	(74) 代理人	100078330
審査請求日	平成20年7月29日 (2008. 7. 29)		弁理士 笹島 富二雄
(31) 優先権主張番号	10-2004-0101168	(72) 発明者	權 五仁
(32) 優先日	平成16年12月3日 (2004. 12. 3)		大韓民国京畿道光明市下安2洞住公4団地
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		406-408
		合議体	
		審判長	井上 正
		審判官	須田 勝巳
		審判官	清田 健一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 移動通信端末機のメッセージ受信方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の文字セットを含んだ受信メッセージを格納するメモリと、
 前記格納されたメッセージを表示する表示部と、
 これらメモリ及び表示部を制御し、前記受信メッセージにサポート外のフォントの文字
 セットが含まれているか否かを確認して、当該受信メッセージ中のサポートするフォント
 は正常に前記表示部に表示すると同時にサポート外のフォントはブランクとして前記表示
 部に表示する制御部と、
 を含んで構成される移動通信端末機のメッセージ受信方法であって、
 前記制御部は、
 ユーザが前記ブランクとして処理された文字を確認するために、他のコンピュータから
 メッセージ受信要求命令を転送すると、前記サポートするフォント及びサポート外のフォ
 ントを含んだ受信メッセージを前記コンピュータへ転送し、その後、前記コンピュータか
 ら、PC同期プログラムにより変換された前記受信メッセージのイメージファイルを受信
 し、前記メモリに格納すると共に前記表示部に表示し、
 前記PC同期プログラムに従う前記コンピュータは、
 前記サポートするフォント及びサポート外のフォントを含んだ受信メッセージを受信す
 ると、該受信メッセージ中のブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在す
 るか否か確認し、前記ブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在すれば、
 当該コンピュータのモニタに、前記ブランクとして処理された文字をユニコードに該当す

る文字列として表示し、前記ブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在しなければ、前記モニタに、フォントアップデートのためにフォントアップデートメッセージを表示し、この後、ユーザのイメージファイル変換要求に応じて前記受信メッセージをイメージファイルに変換し、転送の要求に応じて前記イメージファイルを前記移動通信端末機へ転送する、

ことを特徴とするメッセージ受信方法。

【請求項 2】

前記移動通信端末機は、

前記メモリに格納したイメージファイルを、マルチメディアメッセージングサービス及び電子メールを利用して他の端末機へ転送することが可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のメッセージ受信方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、移動通信端末機に関し、特に、移動通信端末機に受信されたメッセージを処理する移動通信端末機のメッセージ処理技術に関する。

【背景技術】

【0002】

一般に、移動通信（移動体通信）サービス事業者（キャリア）は、ユーザに、無線インターネットの接続、文字メッセージ及びマルチメディアメッセージの転送、そしてモバイルオンラインゲームなどのサービスを提供し、移動通信端末機の製造業者は、電話帳（Phone-book）、メモ帳、メール作成、及びスケジューラ機能などのようなサービスを開発して提供する。

【0003】

これらサービスのうち文字メッセージサービスは、単純に移動通信端末機（以下、端末機とも称する）を利用する入力方法だけでなく、パーソナルコンピュータ（Personal Computer：PC）により多様な特殊文字、記号などを作成したり、既存のショートメッセージを編集して転送する例が増加され、また、インターネットポータルサイトは、多様なメッセージフォーム及び記号などを無料で提供するため、ユーザは、既に定義された文字及び記号以外に多様な特殊文字が含まれたショートメッセージを転送できる。

【0004】

このように、端末機で交換されるショートメッセージだけでなく、PCにより送信されたショートメッセージを受信して画面に表示する場合、端末機は、受信されたメッセージの文字に、端末機に予め格納されているフォントに該当しない文字セット（Character Set）を含む場合は、該文字セットをブランクとして処理し、当該ブランクとして処理されたメッセージを後で確認するために一時格納する。このとき、ブランクとして処理された該当メッセージは、保存しておいたとしてもブランクなので確認する方法がなかった。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明の目的は、端末機に受信されたメッセージが端末機のサポートしないフォントのメッセージである場合、PC同期（PC Sync）プログラムを利用して該当フォントをユニコード文字列として表示し、また、イメージファイルに変換することで、ユーザが端末機でサポートしていないフォントのメッセージを確認し得る移動通信端末機のメッセージ受信方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

このような目的を達成するために本発明に係る移動通信端末機のメッセージ受信方法は、
複数の文字セットを含んだ受信メッセージを格納するメモリと、前記格納されたメッセ

10

20

30

40

50

ージを表示する表示部と、これらメモリ及び表示部を制御し、前記受信メッセージにサポート外のフォントの文字セットが含まれているか否かを確認して、当該受信メッセージ中のサポートするフォントは正常に前記表示部に表示すると同時にサポート外のフォントはブランクとして前記表示部に表示する制御部と、を含んで構成される移動通信端末機のメッセージ受信方法であって、

前記制御部は、ユーザが前記ブランクとして処理された文字を確認するために、他のコンピュータからメッセージ受信要求命令を転送すると、前記サポートするフォント及びサポート外のフォントを含んだ受信メッセージを前記コンピュータへ転送し、この後、前記コンピュータから、P C同期プログラムにより変換された前記受信メッセージのイメージファイルを受信し、前記メモリに格納すると共に前記表示部に表示し、

前記P C同期プログラムに従う前記コンピュータは、前記サポートするフォント及びサポート外のフォントを含んだ受信メッセージを受信すると、該受信メッセージ中のブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在するか否かを確認し、前記ブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在すれば、当該コンピュータのモニタに、前記ブランクとして処理された文字をユニコードに該当する文字列として表示し、前記ブランクとして処理された文字を表示するフォントが存在しなければ、前記モニタに、フォントアップデートのためにフォントアップデートメッセージを表示し、この後、ユーザのイメージファイル変換要求に応じて前記受信メッセージをイメージファイルに変換し、転送の要求に応じて前記イメージファイルを前記移動通信端末機へ転送する、ことを特徴とする。

【0008】

好ましくは、このような端末機は、変換されたイメージファイルをマルチメディアメッセージングサービス(MMS)及び電子メールを使用して相手に転送することを特徴とする。

【発明の効果】

【0009】

本発明は、端末機にサポートできないフォントの文字セットを含むメッセージが受信された場合、P C同期プログラムを利用してそのメッセージをイメージファイルに変換することで、サポートできないフォントの文字セットを含むメッセージをより効率的に確認し得るという効果がある。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

以下、添付の図面に基づいて本発明の好ましい実施形態を説明する。

【0011】

本発明の基本概念は、端末機に、サポートできないフォントの文字セットを含むメッセージが受信された場合、P C同期プログラムを利用して端末機によりメッセージを確認でき、さらに、当該メッセージをイメージファイルに変換して確認できるように処理する仕組みを提供するというものである。

【0012】

図1は、本発明に係る移動通信端末機のメッセージ受信機能に関連した装置を示すブロック図である。

【0013】

端末機100は、アンテナ(図示せず)を介して入力される音声、映像及びメッセージのようなデータを受信する受信部10と、該受信部10に入力されるメッセージを格納及び管理し、P C同期プログラムによる受信要求の命令に従って、格納されたメッセージの出力を制御する制御部20と、ユーザにより入力される多数の機能選択キー、スクロールキー、数字及び文字キーなどを含むキーパッド50と、受信部10及びUSBポート(Universal Serial Bus port)60から入力されるメッセージを格納するメモリ30と、制御部20の表示制御信号によって各種メニュー、文字セット及びイメージファイルを画面に表示する表示部40と、端末機100及びP C200をUSBケーブルにより接続する

ＵＳＢポート６０と、を備えている。

【００１４】

また、ＰＣ２００は、ＵＳＢケーブルにより端末機１００に接続されるＵＳＢポート７０と、該ＵＳＢポート７０から受信されるメッセージをイメージファイルに変換するＰＣ同期プログラム９０と、該ＰＣ同期プログラム９０に従いコンピュータ全体を制御するプロセッサ８０と、を含む。

【００１５】

以下、図１に基づいて本発明に係る移動通信端末機の動作を説明する。

【００１６】

受信部１０にショートメッセージ及びマルチメディアメッセージのようなメッセージが受信されると、制御部２０は、その受信されたメッセージをメモリ３０に格納すると同時に、メッセージが受信されたことを通知する通知メッセージを表示部４０に表示する。ここで、ユーザが受信したメッセージを確認するためにキーパッド５０から命令が入力されると、制御部２０は、メモリ３０に格納された受信メッセージを表示部４０に転送し、該表示部４０は、その受信メッセージを表示する。次に、受信メッセージが端末機１００にサポートできないフォントの文字セット（例：記号、メッセージフォーム、特殊文字など）を含んでいると、これを確認する制御部２０は、当該文字セットをブランクとして処理し、該メッセージを表示部４０に表示する。

10

【００１７】

ユーザが表示部４０にブランクで表示された文字セットの内容を確認しようとする場合、ユーザは、端末機１００のＵＳＢポート６０とコンピュータ２００のＵＳＢポート７０とをＵＳＢケーブルにより接続し、ＰＣ２００内のＰＣ同期プログラム９０によりメッセージ受信要求命令を端末機１００に転送する。

20

【００１８】

メッセージ受信要求命令を受信した端末機１００は、該端末機１００に備えられたＰＣ同期機能を利用して該当するメッセージをＵＳＢポート６０からコンピュータ２００に転送する。ＰＣ２００のＵＳＢポート７０から受信されたメッセージは、プロセッサ８０の制御により格納装置（図示せず）に格納され、この格納されたメッセージは、ＰＣ同期プログラム９０により該当フォントのユニコード文字列として表示される。表示中にユーザが、メッセージの内容を確認するために、メッセージをイメージファイルに変換することを要求すると、ＰＣ同期プログラム９０は、当該メッセージをイメージファイルに変換する。

30

【００１９】

さらに、ユーザがその変換後のイメージファイルを端末機に転送することを要求すると、ＰＣ同期プログラム９０は、メッセージを受信した場合と同様に、イメージファイルをコンピュータのＵＳＢポート７０から端末機１００に転送する。端末機１００は、受信されたイメージファイルをメモリ３０に保存し、該保存イメージファイルが表示部４０に表示されることにより、ユーザは、端末機でサポートできないフォントのメッセージを見ることができる。

【００２０】

図２は、本発明に係る移動通信端末機のメッセージ受信方法を示すフローチャートである。以下、図２に基づいて本発明に係る移動通信端末機のメッセージ受信方法を詳細に説明する。

40

【００２１】

端末機に、ＰＣやインターネットポータルサイトで作成された多様な文字セットを含むＳＭＳ及びＭＭＳのようなメッセージが受信されると、端末機は、その受信されたメッセージをメモリに格納する（Ｓ１００）。ユーザが格納されたメッセージを見るために端末機に命令を入力すると、端末機は格納されたメッセージを表示部に表示する（Ｓ１０２）。格納されたメッセージの文字が端末機のサポートするフォントに該当すると、端末機は、当該メッセージを正常に表示部に表示し、一方、メッセージの文字が端末機のサポート

50

するフォントに該当しないと、端末機でサポートできないフォントの文字はブランクとして処理し、表示部に表示する（S104，S106）。

【0022】

表示部にブランクとして処理された文字があると、ユーザは、ブランクとして処理された文字を確認するために、端末機とPCをUSBケーブルにより接続し、PCのPC同期プログラムを駆動し、該プログラムを利用して該当メッセージの受信要求命令を端末機に転送する（S108，S110）。メッセージの受信要求命令を受けた端末機は、PC同期機能を利用して、格納されたメッセージをUSBポートからPCに転送する（S112）。メッセージを受信したPCは、ユーザにより駆動されたPC同期プログラムを利用して、受信メッセージのブランクとして処理された部分に該当するフォントをユニコード文字列として表示し、ユーザは、前記転送されたメッセージのうちブランクとして処理された文字を確認する（S114，S116）。もし、PC同期プログラムにもメッセージのブランクとして処理された部分を表示するためのフォントが存在しない場合は、フォントアップデートメッセージをモニタにポップアップすることにより、ユーザが該当フォントをアップデートするように案内する。

10

【0023】

メッセージを確認したユーザが端末機を利用して他の端末機に当該メッセージをMMS又は電子メールで転送しようとする場合、ユーザは、PC同期プログラムを利用して、ブランクを含むメッセージをイメージファイルに変換することを要求し、PC同期プログラムは、該当メッセージをイメージファイルに変換する（S118，S120）。メッセージがイメージファイルに変換されると、ユーザは、PC同期プログラムにより、変換されたイメージファイルを端末機に格納することを要求し、PC同期プログラムは、変換後のイメージファイルをUSBポートから端末機に転送する（S122，S124）。

20

【0024】

端末機は、イメージファイルに変換されて転送されたメッセージを保存し、該保存されたイメージファイルを表示部に表示する（S126，S128）。また、端末機は、当該イメージファイルをMMS及び電子メールを使用して相手（他の端末機等）に転送し得る。

【図面の簡単な説明】

【0025】

30

【図1】本発明に係る移動通信端末機を示す構成図である。

【図2】本発明に係る移動通信端末機のメッセージ受信方法を示すフローチャートである。

【符号の説明】

【0026】

10：受信部

20：制御部

30：メモリ

40：表示部

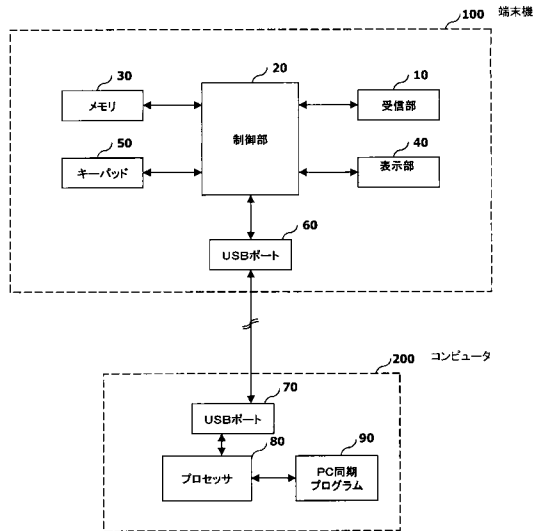
50：キーパッド

60，70：USBポート

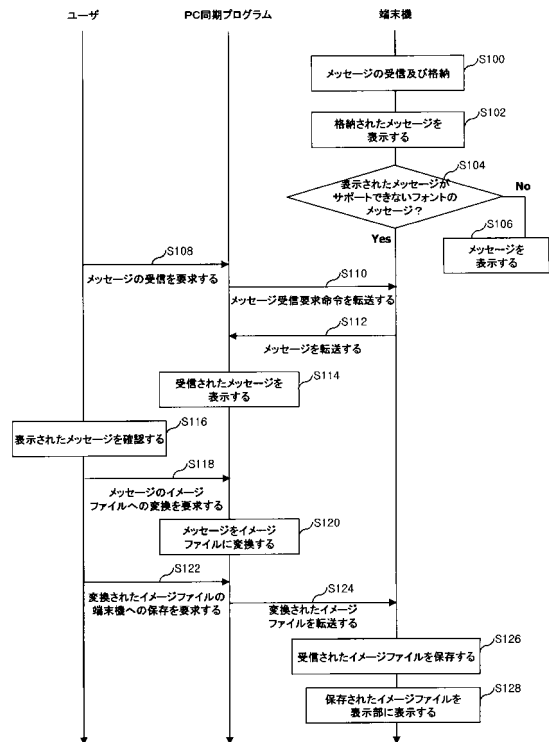
90：PC同期プログラム

40

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2004-206467 (JP, A)
特開2002-278955 (JP, A)
特開2004-179936 (JP, A)
特開2001-067287 (JP, A)
特開2001-297078 (JP, A)
特開2001-292272 (JP, A)
特開2001-142753 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G06F13/00